



2021年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年3月11日

上場会社名 株式会社シルバーライフ 上場取引所 東
 コード番号 9262 URL <https://www.silver-life.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 貴久
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部次長兼経営企画課長 (氏名) 齋藤 玲子 TEL (03) 6300-5629
 四半期報告書提出予定日 2021年3月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第2四半期の業績（2020年8月1日～2021年1月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年7月期第2四半期 | 4,888 | 16.1 | 611 | 48.6 | 671 | 38.2 | 417 | 38.3 |
| 2020年7月期第2四半期 | 4,212 | 11.1 | 411 | △5.0 | 486 | △0.2 | 302 | 0.7 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年7月期第2四半期 | 39.04 | 38.15 |
| 2020年7月期第2四半期 | 28.45 | 27.57 |

(注) 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年7月期第2四半期 | 7,161 | 4,787 | 66.9 |
| 2020年7月期 | 5,613 | 4,364 | 77.7 |

(参考) 自己資本 2021年7月期第2四半期 4,787百万円 2020年7月期 4,364百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年7月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2021年7月期 | — | 0.00 | | | |
| 2021年7月期（予想） | | | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年7月期の業績予想（2020年8月1日～2021年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 9,530 | 7.9 | 650 | △30.4 | 770 | △29.1 | 460 | △32.2 | 42.92 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年7月期2Q | 10,717,200株 | 2020年7月期 | 10,688,800株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年7月期2Q | 371株 | 2020年7月期 | 294株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年7月期2Q | 10,700,815株 | 2020年7月期2Q | 10,616,106株 |

（注）当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) キャッシュ・フローの状況 | 3 |
| (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第2四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (持分法損益等) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |
| (1株当たり情報) | 8 |
| (重要な後発事象) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞の影響を受け、景況感が悪化し先行き不透明な状況が続いています。

当社の属する高齢者向け配食サービス市場におきましては、高齢者人口及び一人暮らし高齢者世帯の増加等を背景に、市場は引き続き拡大傾向が続いております。

このような状況の下、当社におきましては、現状新型コロナウイルス感染拡大による業績への重大な影響は生じていないことから、引き続き、FC加盟店の積極的な開発、高齢者施設向けの食材販売では2020年4月より販売を開始した新商品の拡大販売に注力いたしました。また、当社製造冷凍弁当の直接販売では、自社工場の製造能力を超えない範囲で売上拡大施策を進めました。

製造面については、工場の製造設備増強等による生産効率化の効果が継続いたしました。加えて、顧客への販売価格が直接売上高となる直接販売の比率が高まったこと、工場の稼働率が高水準で維持したことにより、売上高総利益率は上昇いたしました。一方で、前事業年度末より顕著化している自社工場における冷凍弁当の製造能力が逼迫した状況は、依然として継続しております。

販売管理費については、自社工場における冷凍弁当の製造能力が限界に近付きつつある状況を鑑み、広告宣伝活動等の販売促進施策の抑制を行って参りましたが、第2四半期会計期間においては、第1四半期会計期間と比較し、若干、広告投入量は増加いたしました。今後も、製造量と受注量の推移を注視しながら、広告投入量をコントロールしていく考えです。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は4,888,371千円（前年同期比16.1%増）、営業利益は611,848千円（同48.6%増）、経常利益は671,892千円（同38.2%増）、四半期純利益は417,799千円（同38.3%増）となりました。

販売区分別の経営成績は、次のとおりであります。

① FC加盟店

フランチャイズを展開しているFC加盟店向け販売では、「まごころ弁当」及び「配食のふれ愛」の2ブランドによる積極的な店舗展開を図ってまいりました。これにより、「まごころ弁当」は前事業年度末より33店舗、「配食のふれ愛」は30店舗それぞれ増加したことで、店舗数は前事業年度末より63店舗増加し897店舗となりました。

この結果、FC加盟店向け販売における当第2四半期累計期間の売上高は3,526,335千円（前年同期比15.0%増）となりました。

② 高齢者施設等

高齢者施設等向け食材販売サービスである「まごころ食材サービス」では、介護報酬削減の影響により、民間配食業者への効率的な食材販売サービスへの需要が高まっております。前々事業年度に行った個食対応廃止による失注影響が薄まったことに加え、2020年4月より販売を開始した施設専用冷凍食材「こだわりシェフ」の業績への寄与度が軽微ながら徐々に高まってきたことから、高齢者施設等の販売区分全体では、前第2四半期累計期間と同程度の売上を確保することができました。

この結果、高齢者施設向け食材販売における当第2四半期累計期間の売上高は601,299千円（前年同期比0.7%増）となりました。

③ 直販・その他

直接販売では、受注量が自社工場の製造能力を超えないよう広告投入量の増減調整を継続して行い、一定規模の売上を確保いたしました。OEM販売では、既存大口取引先の委託先分散化施策による影響は継続しており、売上は減少しました。

この結果、直販・その他販売における当第2四半期累計期間の売上高は760,735千円（前年同期比38.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末より416,896千円減少し、2,662,459千円となりました。

これは主に、冷凍弁当の製造増加に伴い商品及び製品が76,394千円増加したこと、新工場の建設にかかる費用支払いで現金及び預金が518,790千円減少したこと、1月は営業日が少なかったことで売掛金が46,500千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は前事業年度末より1,964,173千円増加し、4,498,763千円となりました。

これは主に、新工場の建設にかかる工事費用として建設仮勘定が1,660,341千円及び建物が186,815千円、新倉庫の用地取得で土地が92,438千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は前事業年度末より1,121,710千円増加し、2,211,499千円となりました。

これは主に、新工場の建設にかかる工事費用として未払金が1,155,901千円増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は前事業年度末より2,413千円増加し、162,175千円となりました。

これは主に、預り保証金が10,685千円増加、長期リース債務が8,271千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より423,152千円増加し、4,787,548千円となりました。

これは、利益剰余金が417,799千円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末より518,790千円減少し、1,328,402千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、477,053千円(前年同四半期は232,905千円の獲得)となりました。

収入の主な内訳は、税引前四半期純利益667,836千円、減価償却費88,273千円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額214,071千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、990,242千円(前年同四半期は754,654千円の使用)となりました。

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出909,733千円、無形固定資産の取得による支出88,489千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5,601千円(前年同四半期は1,523千円の使用)となりました。

収入の主な内訳は、ストックオプションの行使による収入5,520千円であり、支出の主な内訳は、自己株式の取得による支出167千円、リース債務の返済による支出10,954千円であります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月期の業績予想につきましては、2020年9月12日付けの「2020年7月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2020年7月31日) | 当第2四半期会計期間 (2021年1月31日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,847,192 | 1,328,402 |
| 売掛金 | 870,406 | 823,906 |
| 商品及び製品 | 63,166 | 139,560 |
| 原材料及び貯蔵品 | 15,563 | 19,534 |
| その他 | 312,940 | 384,052 |
| 貸倒引当金 | △29,913 | △32,995 |
| 流動資産合計 | 3,079,355 | 2,662,459 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 644,716 | 831,531 |
| 機械及び装置(純額) | 303,509 | 283,189 |
| 建設仮勘定 | 839,688 | 2,500,030 |
| その他(純額) | 359,233 | 446,546 |
| 有形固定資産合計 | 2,147,148 | 4,061,296 |
| 無形固定資産 | 262,420 | 297,757 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 137,136 | 149,523 |
| 貸倒引当金 | △12,115 | △9,814 |
| 投資その他の資産合計 | 125,021 | 139,709 |
| 固定資産合計 | 2,534,590 | 4,498,763 |
| 資産合計 | 5,613,946 | 7,161,223 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 539,806 | 494,439 |
| 未払金 | 277,115 | 1,433,017 |
| 未払法人税等 | 228,017 | 261,827 |
| その他 | 44,849 | 22,215 |
| 流動負債合計 | 1,089,788 | 2,211,499 |
| 固定負債 | | |
| その他 | 159,761 | 162,175 |
| 固定負債合計 | 159,761 | 162,175 |
| 負債合計 | 1,249,550 | 2,373,674 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 716,103 | 718,863 |
| 資本剰余金 | 706,103 | 708,863 |
| 利益剰余金 | 2,942,871 | 3,360,670 |
| 自己株式 | △682 | △849 |
| 株主資本合計 | 4,364,396 | 4,787,548 |
| 純資産合計 | 4,364,396 | 4,787,548 |
| 負債純資産合計 | 5,613,946 | 7,161,223 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日) | 当第2四半期累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 4,212,111 | 4,888,371 |
| 売上原価 | 2,986,054 | 3,428,618 |
| 売上総利益 | 1,226,057 | 1,459,752 |
| 販売費及び一般管理費 | 814,201 | 847,904 |
| 営業利益 | 411,855 | 611,848 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,913 | 5,398 |
| 受取補償金 | 63,984 | 45,070 |
| その他 | 18,162 | 19,932 |
| 営業外収益合計 | 87,060 | 70,401 |
| 営業外費用 | | |
| 貸貸費用 | 9,616 | 8,347 |
| 貸倒損失 | 131 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | 2,966 | 1,971 |
| その他 | 87 | 38 |
| 営業外費用合計 | 12,802 | 10,356 |
| 経常利益 | 486,113 | 671,892 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 4,055 |
| 固定資産除却損 | 2,114 | 0 |
| 特別損失合計 | 2,114 | 4,055 |
| 税引前四半期純利益 | 483,999 | 667,836 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 180,639 | 246,695 |
| 法人税等調整額 | 1,325 | 3,341 |
| 法人税等合計 | 181,965 | 250,036 |
| 四半期純利益 | 302,034 | 417,799 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日) | 当第2四半期累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 483,999 | 667,836 |
| 減価償却費 | 80,628 | 88,273 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 5,264 | 781 |
| 受取利息及び受取配当金 | △4,913 | △5,398 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | — | 4,055 |
| 有形固定資産除却損 | 2,114 | 0 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 42,321 | 46,500 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △15,282 | △80,365 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △51,227 | △45,366 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △52,292 | 79,707 |
| その他 | △18,969 | △70,299 |
| 小計 | 471,641 | 685,726 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,913 | 5,398 |
| 法人税等の支払額 | △243,650 | △214,071 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 232,905 | 477,053 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △683,496 | △909,733 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 5,443 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △66,462 | △88,489 |
| 貸付けによる支出 | △9,932 | △20,665 |
| 貸付金の回収による収入 | 5,975 | 8,056 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △13,601 | △98 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 295 | 131 |
| 預り保証金の返還による支出 | △2,400 | △860 |
| 預り保証金の受入による収入 | 17,793 | 18,799 |
| その他投資の取得による支出 | △2,827 | △2,827 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △754,654 | △990,242 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| ストックオプションの行使による収入 | — | 5,520 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △167 |
| リース債務の返済による支出 | △1,523 | △10,954 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,523 | △5,601 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △523,272 | △518,790 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,260,473 | 1,847,192 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,737,201 | 1,328,402 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

関連会社がないため該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、食材製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日) | 当第2四半期累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日) |
|---|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益 | 28円45銭 | 39円04銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益(千円) | 302,034 | 417,799 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る四半期純利益(千円) | 302,034 | 417,799 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 10,616,106 | 10,700,815 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | 27円57銭 | 38円15銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益調整額(千円) | — | — |
| 普通株式増加数(株) | 337,799 | 251,663 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要 | — | — |

(注) 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。